

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

論文題名	鶏肉および人から検出される CTX-M 型 ESBL 産生大腸菌
掲載雑誌名	動物用抗菌剤研究会報 No. 34
発表者	石畝 史、永田暁洋 他（保健衛生部）
発行日	平成24年11月
要旨	<p>平成19年～23年に福井県内で分離された市販鶏肉由来46株及び人糞便由来54株のCTX-M型ESBL産生大腸菌の分子疫学性状を調べた。血清型は鶏肉由来株は078:H9及び078:HUTが主であったのに対し、人由来株では025:H4, 01:H6, 086a:H18及び078:H9が確認された。CTX-M groupは鶏肉由来株ではCTX-M-1 groupが54%, 糞便由来株ではCTX-M-9 groupが67%を占めた。025:H4のCTX-M型は、鶏肉由来株はCTX-M-3型, 人由来株はCTX-M-14, CTX-M-15およびCTX-M-27であった。我が国で広く出現しているCTX-M-15型, ST131の025:H4型が分離された。CAZ, CTRX及びCPRのMICは、いずれも人由来株よりも鶏肉由来株に対し高い値($P<0.01$)を示した。鶏肉由来の4剤耐性の078:H9のCTX-M型、系統発生群およびMICは、人由来株と類似していた。</p>